

第4回耐震改修促進計画改定検討会 議事録（要旨）

日 時：令和8年1月26日（月）14:00～15:00

開催方法：オンライン会議

テーマ	主な意見
全体	<p>＜施策の進め方＞</p> <ul style="list-style-type: none">・各種施策に関する先進事例について県で検討を重ね、その結果を市町に共有してもらいたい。
住宅	<p>＜意識啓発＞</p> <ul style="list-style-type: none">・住宅耐震化の意識啓発については、県が広く情報発信するとともに、市町は個別の事情に応じた支援策の実施や地域特性を踏まえた重点的な対応など、メリハリをつけて取り組むのがよい。・住宅の耐震化に関心がない住民の意識を変えるためには、住宅関連以外のイベントや地域活動等を通じて、多くの県民に情報を届けることが重要である。そのため、他分野のイベントにおける周知や首長からのSNS発信など、様々な部局間で連携を取りながら意識啓発を行う必要があるのではないか。・住宅の耐震化に関心のない住民（主に高齢者）に対しては、住教育等の実施を通じて子供から祖父母に話をしてもらうことが、長期的な観点から重要である。 <p>＜環境整備＞</p> <ul style="list-style-type: none">・「他分野施策との連携」の項目で、「分野」という文言が重複している。また、他の項目と比べて具体的でないため、表現方法を検討いただきたい。 <p>＜補助制度＞</p> <ul style="list-style-type: none">・精密診断法による耐震診断に関する市町からの意見について、代表的な部分の壁を剥がすなどして構造耐力を計算し、未確認部分は補強なしとして安全性を評価するため、より安全側の設計となり、補助制度上の支障はないと思われる。・断熱改修やバリアフリー改修など他の補助金と併せて活用する場合の具体的な事例を示すことで、居住者等が申請しやすくなるのではないか。